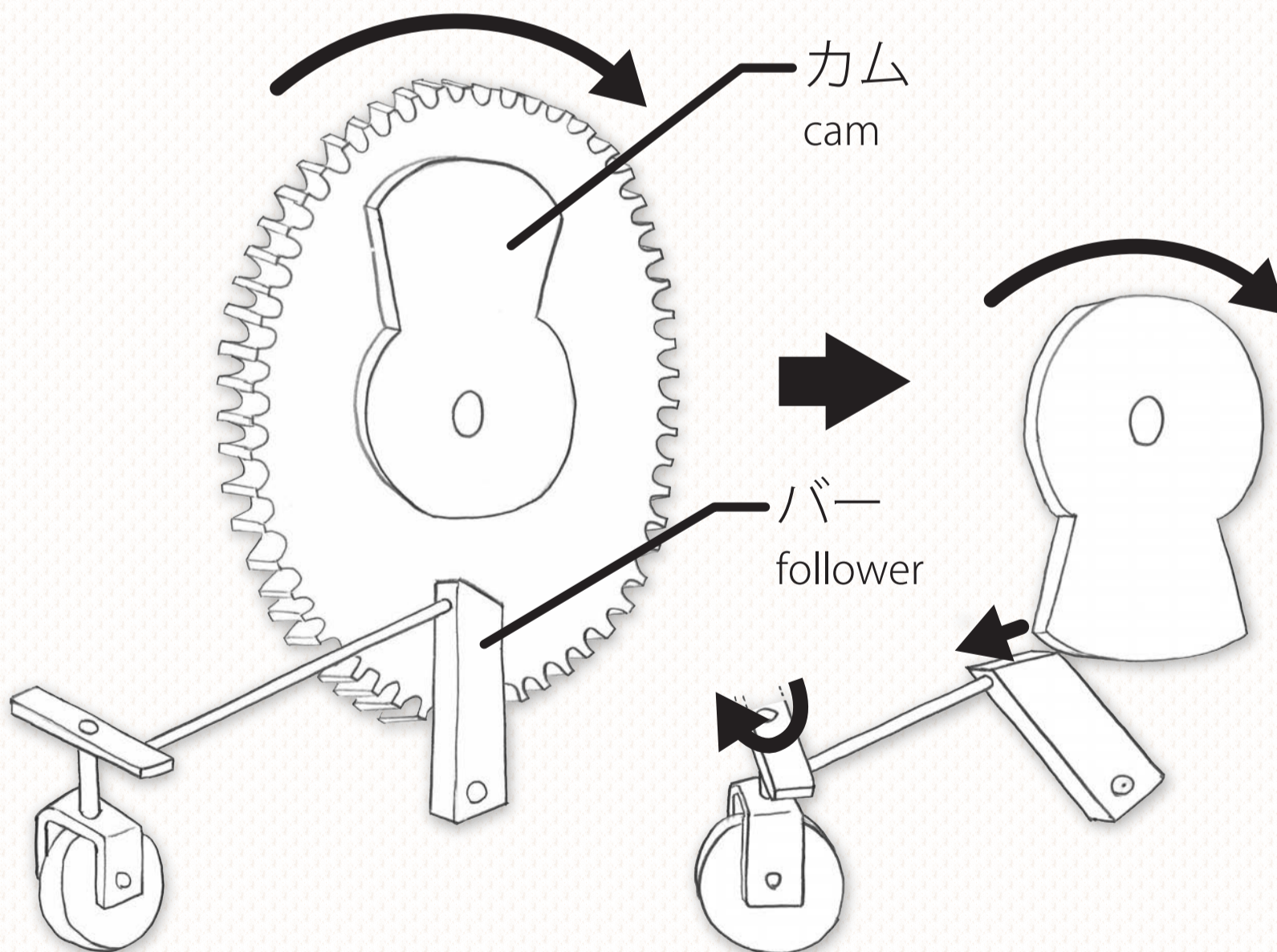


# カムでUターン、茶運び人形

カムは、あるタイミングで所望の変位をさせるための機構のひとつです。茶運び人形では歯車と一緒<sup>いっしょ</sup>に回転するカムが、車輪につながるバー<sup>お</sup>を押して、車輪の向きを変えます。カム外周は場所によって半径が変わる形状を持ち、その形状にしたがってバー<sup>お</sup>を押したり戻したり<sup>もど</sup>します。カムの外周形状がモノの動きのプログラムになっています。





## 茶運び人形

Mechanism of a tea-serving boy

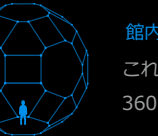
西洋から伝わった時計技術を応用して作られた、江戸時代の代表的なゼンマイ仕掛けのからくり人形です。茶托の上に茶碗を置くと、人形はお客様に向かって動き、お客様が茶碗を取ると止まって、茶碗を返すと向きを変えて戻ります。

江戸後期 - 明治初期  
mid 19th century

館内企画展アーカイブ

# バーチャル展示室

THE VIRTUAL  
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <http://www.tcmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



**トヨタ産業技術記念館**

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.